

# 法学・政治学の諸問題

私たちが生きている社会はどのように動いているのか。人がより豊かに暮らすには、どのような形で社会秩序を保つことが望ましいのか。法学・政治学は、このような「答えのない問題」を扱っています。

この講座では、時事問題や社会問題を「高校生から分かる」ように講義します。今年度は、計量政治学、憲法、民法、刑法の4分野から、最近話題になっているテーマを検討します。

「答えのない問題」を扱うため、時には一筋縄では行かないことも、時にはもどかしいこともあるかもしれませんが、しかし、何よりも大事なことは「自分の頭」で考えはじめること。大学で法律学や政治学を勉強したいと考えている高校生はもちろんのこと、社会人の方が受講されても、満足いただける内容を用意しています。

- 開催日時 6/22(日)、7/6(日) 13:00～16:20
- 開催場所 しいのき迎賓館 セミナールームB
- 受講対象者 一般(高校生以上)
- 定員 40名
- 受講料 1,800円(1,200円) \* ( )内は高校生
- 申込期限 6/13(金) 締切日以降はお問合せ下さい。
- その他 駐車場をご利用の場合、別途駐車料金がかかります。

| 期日          | 講座内容            | 講師の所属・職       | 氏名    |
|-------------|-----------------|---------------|-------|
| 6/22<br>(日) | 選挙の意義と限界について考える | 人間社会研究域法学系教授  | 岡田 浩  |
|             | 家族をもつという権利      | 人間社会研究域法学系准教授 | 稲葉 実香 |
| 7/6<br>(日)  | 日常生活と契約法        | 人間社会研究域法学系准教授 | 高 秀 成 |
|             | 刑法入門-犯罪の成立要件    | 人間社会研究域法学系教授  | 永井 善之 |

◆お問合せ先◆

〒920-1192 金沢市角間町

## 金沢大学地域連携推進センター

TEL 076(264)5272・5273

FAX 076(234)4045

Eメール kaihous@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL <http://open-learning.crc.kanazawa-u.ac.jp>

受付時間 9:00～17:00(ただし、土日、祝日、夏季休業、年末年始を除く)

詳細はHPをご覧ください  
パンフレットご希望の方はこちらまで



## 〔講義概要〕

第1回(6月22日 日曜日 13:00~14:30)

「選挙の意義と限界について考える」 法学系教授 岡田 浩

最近の国政選挙では原発問題が争点として挙げられ、脱原発を明確に主張する政党もありますが、それらの政党は選挙であまり議席を獲得できていません。世論調査では脱原発を支持する声が圧倒的に多いのですが、なぜそのような選挙結果になるのでしょうか。この講座では、現代の民主政治における選挙の意義と限界について考えてみたいと思います。

第2回(6月22日 日曜日 14:50~16:20)

「家族をもつという権利」 法学系准教授 稲葉 実香

現代は家族も多様化しています。事実婚の夫婦、同性カップル、性同一性障害者のカップルなど、また子どもを持たないという選択をしたカップルや、不妊に苦しむカップル、シングルで子どもを育て上げる親、親元で暮らせない子どもたちを引き取る里親など。家族をもつということの現代的なさまざまな問題について、憲法上の権利の観点から考えてみます。

第3回(7月6日 日曜日 13:00~14:30)

「日常生活と契約法」 法学系准教授 高 秀成

私達の日常生活は数多くの契約によって成り立っています。契約は民法を理解するうえでも最重要のキーワードです。契約とはどのようなものか、契約を締結するとどうなるのか。身近な例で説明していきます。また、契約と関連させつつ、民法改正の最新動向についても紹介したいと思います。

第4回(7月6日 日曜日 14:50~16:20)

「刑法入門 — 犯罪の成立要件」 法学系教授 永井 善之

殺人、窃盗や放火等々の犯罪を定める刑法は、その処罰による犯罪からの利益保護と共に、犯罪以外の自由との人権保障をも図る法律です。よって犯罪の成立判断は理論的に冷静になされねばなりません。一般国民も裁判員として刑事裁判への参加が求められるいま、刑法学、すなわち犯罪の成立要件論を学ぶ意義は大変高いと思われます。